

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		単独土地改良事業		担当課	(3) 指標の推移					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係						活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)		3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	1	款	6	項	1	目	8	備考				
(個別目標)		2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	委託費、工事請負費、原材料費												
(施策)		3	生産基盤の整備	対象	農業用施設					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)		1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする	事業期間	不詳 年度～年度 (年間)					ア	農業生産額 (耕種)	千円	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
(施策)		1	農林水産業の成長産業化プロジェクト									1,150	1,150	1,150			
(1) 総事業費の推移		単位		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価							
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価							
年間 事業 費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円							有効性 評価	市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性						
		その他特定財源	千円	10,800	14,400	7,500	4,500	7,000	7,000								
		一般財源	千円	10,558	13,876	11,799	8,213	13,000	13,000								
		事業費計 (A)	千円	21,358	28,276	19,299	12,713	20,000	20,000								
		所要人員 (年間)	人	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000								
		人件費概算 (B)	千円	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400								
		(A) + (B)	千円	43,758	50,676	41,699	35,113	42,400	42,400								
(2) 事業概要																	
事業目的	農業用施設等の維持管理保全を適切に図り、継続的な農業を推進する。																
事業内容	施設 (農道や用排水路、井関など) の長寿命化を図ることを目的とし、維持補修や軽微な改良を実施する。																
開始経緯	開始時期は明確ではないが、農業用施設の維持管理は不可欠であり、農業者だけの維持管理が困難な部分を補う為に開始された。																
実施状況	排水路の土砂撤去、受益者へ農道の砂利及び生コンクリート支給、用水施設の改修に係る補助																
成果	事業導入により、適切な維持管理を実施できた。																
課題	受益者 (地権者や耕作者) の高齢化により、適切な維持管理が実施できない地域もある。																
	改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了	農家だけの維持管理は困難な状況になりつつある。各地域が一体となり、農地や農業用施設を維持していくかを考える必要がある。									

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		多面的機能支払交付金事業				担当課	耕地林務水産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			
						担当係	耕地係				活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)			
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	3	＜産業経済＞大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち				予算科目	1	6	1	8	備考	ア	協議会への指導	回	2	2	2	2	2	
(個別目標)	2	1次産業が発展し続けるまち				主な費目	補助金、事務費(消耗品費・旅費)				イ	事業説明会	回	1	1	1					
(施策)	3	生産基盤の整備				対象	活動組織内の農地・農業用施設				(4) 評価		所管課による評価								
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする								成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)								
(施策)	6	地元活躍人材育成プロジェクト				事業期間	平成19年度～ 年度(年間)				ア	農地カバー率	%	30	30	30	30	30			
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)													
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円	56,533	60,263	55,040	61,173	61,173	61,173	有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 現在活動に係る費用は、この事業から支出しており、これが無くなると、非農業者と農業者の共同活動が減り、地域に対する愛着が薄くなり、耕作放棄地が減る可能性がある。										
		その他特定財源	千円			502															
		一般財源	千円	18,615	20,138	18,225	20,446	20,446	20,446												
		事業費計 (A)	千円	75,148	80,401	73,767	81,619	81,619	81,619												
		所要人員 (年間)	人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000												
		人件費概算 (B)	千円	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200												
	(A) + (B)	千円	86,348	91,601	84,967	92,819	92,819	92,819													
(2) 事業概要																					
事業目的	農地・水・環境を将来にわたり良好な状態で保全し、質的な向上を図るため、地域住民が一体となり農地・農業用施設の保全を図る。 負担率：国(50%)、県(25%)、市(25%)										効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 農村地域は高齢化が進み、非農業者へ協力を求めないと、農業用施設の保全は難しい。本事業により、地域で農地・農業用施設を保全する運気が高まっている。本事業を廃止あるいは削減することは、この流れを断つことになる。 ただし、国の事業が廃止となれば、本市の財政を鑑みると、廃止せざるおえない。									
事業内容	各組織より計画書(5年間)が提出され、これを審査し承認。毎年、年度末に、実施状況を確認し、県へ報告する。																				
開始経緯	本事業は、平成19年度に「農地・水・環境保全向上活動」としてスタートし、平成24年度から事業名が、現在の名称に変更となった。 近年、農業農村を取り巻く環境は、担い手不足や高齢化により農地・農業用施設の維持管理が厳しくなってきた。また、国、県ともに厳しい財政状況のなか、施設の長寿命化を図る施策を推進している。										達成度 評価	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間 本事業により、地域で農地・農業用施設を保全する運気が高まり、かつ、農業に関する関心が高まっている地域もある。									
実施状況	R4.4月～5月 実施状況確認。(23組織ーR3分) R4.4月～6月 変更組織認定(9組織) R4.11月 中間検査(2～3組織)及び安全講習会(23組織)																				
成果	市内23組織、約1,610haの農地を保全。										改革 改善案	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 廃止終了									
課題	組織の高齢化により、活動を中止するところもある。継続できるよう、フォローしていく必要がある。											農家だけの農地・農業用施設の維持管理は、現状(高齢化や担い手不足)をみると困難な状況にある。 今後は、地域住民が一体となり、保全していくためには、本事業が最も適していると考えられる。									

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		かごしま農業未来創造支援事業（旧：農業・農村活性化推進施設等整備事業）		担当課		耕地林務水産課、各支所：産業建設課		(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				
				担当係	有明：耕地係、各支所：土木耕地林務係					活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりアライ （基本目標）	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	8	備考	ア	採択地区	地区	2	0	2	2	2		
（個別目標）	2	1	1	次産業が発展し続けるまち	主な費目	工事請負費					イ								
（施策）	3	1	1	生産基盤の整備	対象	対象地区の農業用施設					成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
（基本目標）	総合戦略	1	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする	対象	対象地区の農業用施設					ア	農業生産額（耕種）	千円	1,100 1,150	1,100 1,150	1,100 1,150	1,100		
（施策）	1	1	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト	事業期間	平成24年度～ 年度（ 年～ 年間）					イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価								
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)											
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円	2,082		0	3,200	60,000	2,000	有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性								
		その他特定財源	千円	3,124		0	4,500	80,000	2,700										
		一般財源	千円	40		0	300	10,000	300										
		事業費計 (A)	千円	5,246	0	0	8,000	150,000	5,000										
		所要人員 (年間)	人	1,000			1,000	1,000	1,000										
		人件費概算 (B)	千円	5,600	0	0	5,600	5,600	5,600										
	(A) + (B)	千円	10,846	0	0	13,600	155,600	10,600											
(2) 事業概要																			
事業目的	未整備な農道を改良する事により、農作業の大型機械による効率化はもとより、排水路維持管理費の節減、農作物の移動に伴う荷痛みの軽減、農業所得向上並びに農村環境改善を図る。 補助率：40.0%																		
事業内容	農業用施設の改修・改良																		
開始経緯	昭和32年より、県単独農業農村整備事業として農道の整備を開始した。「かごしま食と農の先進県づくり大綱」に掲げた重点施策の実現に向けて、緊急かつ優先的な分野への重点化を図り、農業・農村の活性化に資する施設等の整備を総合的に推進する事業として平成18年度より現在の事業名となり、平成24年度から、県の所管が農村整備課から農政課へとなった。																		
実施状況	以前は、1市町村1地区が採択ルールであったが、令和元年度から、他市町村の要望数減などにより、複数地区が事業採択となり、令和2年度においては、2地区が事業採択となった。令和3年度は、要望が無く未実施であったが、令和4年度は、2地区を要望している。																		
成果	令和3年度は、実施なし。																		
課題	事業費が、200万円以下が採択対象である。事業要望があった際には、現場をよく確認する必要がある。																		
	改革改善案		用排水路が土側溝の箇所は多数ある。これにより、昨今の大雨で災害が発生している箇所もあることから、事業を導入し、農地の保全、ひいては、国土の保全を図る。		達成度評価		・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間		効率性評価		・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携		社会情勢の変化により、農業用施設の維持管理者が不足している状況にある。本事業により、維持管理の軽減を図ることで、維持管理の継続が図れる。		改革改善案		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		団体営基盤整備促進事業 肆部合地区		担当課	耕地林務水産課				(3) 指標の推移										
				担当係	耕地係				活動指標 (実施状況)		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
				1	6	1	8			ア	件	3	1	0	0	0			
				2					イ	回	0	2	3	1					
				3					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
				1					ア	千円	1,100	1,100	1,100						
				1					イ		1,150	1,150	1,150						
(1) 総事業費の推移				単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価								
					(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価								
年間トータルコスト	事業費	国県支出金	千円	7,700	5,600	1,400	10,570				有効性評価	野井倉土地改良区内では、ほ場整備について、様々な声があり、改良区と協議を行い、どこの団地を優先的に整備するかを検討し決定された地区であり公平性はある。							
		その他特定財源	千円	4,500	2,100	600	4,000												
		一般財源	千円	821	900	546	980	900											
		事業費計 (A)	千円	13,021	8,600	2,546	15,550	900	0										
		所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000											
		人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	0										
(2) 事業概要				(A) + (B)	千円	18,621	14,200	8,146	21,150	6,500	0	効率性評価	土地利用集積、担い手農家の育成による生産性の高い農業を総合的に推進するには、不可欠な事業であり、廃止・休止した場合、大型機械が使えない、排水路維持管理費が節減できない、農作物の移動に伴う荷痛みが軽減できないこととなるため、農家の所得向上が見込めない。						
事業目的	本地区は、昭和初期から野井倉開田により、1区画5aから10a程度の整備がなされたが、用排水路は大半が土水路であり、堆積土砂など用水確保や排水不良の障害が生じている。また、道路幅員が狭小で、用排水分離が未整備であり、地域農業における阻害要因となっている。そこで、区画整理及び道路・用排水整備を行うものである。補助率：70.0%																		
事業内容	ほ場整備 A=15.8ha																		
開始経緯	野井倉開田では、野井倉下段地区をモデル団地とし、H28年度に事業完了した。その後、改良区や受益者との協議の中で、次に整備する団地として、本地区が選定され、H28年度から事業実施に至った。																		
実施状況	面工事を令和元年度までに完了し、本年度は、補完工と及び換地計画処分書作成を実施予定。																		
成果	事業完了間近で、今後の農地集積や集団化を図る準備が整った。																		
課題	現在の農地の貸し借りは、農業公社が主となっているが、今後、農地中間管理機構に移行される。スムーズな事務処理により、農地集積や団地化が図れるようにしなければならない。																		
											改革改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了							
												本事業は、令和5年度に換地処分及び土地清算を完了させ、事業完了となる見込みである。							

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		農村公園等維持管理事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	耕地係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)				
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	1	6	1	7		ア	業務委託件数	業務	2	2	2	2	2	
(個別目標)	計画体系	1	憩いにあふれ住みたくなるまち	主な費目	委託料、光熱費					イ								
(施策)	体系	4	公園・緑地の整備	対象	高下谷農村公園					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							ア	事故数	件	0	0	0	0		
(施策)	戦略	5	観光パワーアッププロジェクト	事業期間	平成10年度～ 年度 (年間)					イ	苦情数	件	0	0	0	0		
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価							
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)										
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 市民の憩いの場として、公園は重要なものである。本事業で、遊具や公園内が適切に管理されている。								
	財源内訳	千円																
	国県支出金	千円																
	その他特定財源	千円																
	一般財源	千円	1,073	1,200	1,241	1,200	12,000	12,000										
	事業費計 (A)	千円	1,073	1,200	1,241	1,200	12,000	12,000										
人件費	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 現在、公園管理を毎月5～10日程度実施するよう、委託業者には指示している。この回数を減らせば、苦情等ができることが想定されることから、事業費の削減は困難である。									
所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000											
人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600											
(A) + (B)	千円	6,673	6,800	6,841	6,800	17,600	17,600	達成度 評価	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢・環境の変化 事業期間 近年、苦情ゼロ・事故ゼロが達成できた。									
事業概要	公園内の日常管理事業 (芝生の管理、し尿浄化槽の管理、清掃、駐車場の管理、遊具の点検) を実施し、施設の安全利用に寄与する。																	
事業内容	農村公園の年間維持管理および遊具の点検業務。																	
開始経緯	平成9年度に県営中山間地域総合整備事業で整備され、平成10年度から一般開放されることに伴い、利用者の安全確保の為。																	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務の状況確認 (毎月) 遊具の点検委託 																	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 事故ゼロ 苦情ゼロ 							改革改善案		拡充	現状維持	○ 改善	効率化	廃止終了				
課題	遊具やトイレの大規模改修が、令和15年頃に必要と思われるが、優位な補助事業がない状況で現在の本市の財政状況を鑑みると、廃止する必要があるのでは。							関係者 (地元住民や利用者) へアンケートをとり、遊具・トイレの廃止を検討することで、事業費の削減が図れるのでは。										

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		農地耕作条件改善事業		担当課	耕地林務水産課				(3) 指標の推移									
				担当係	耕地係				活動指標 (実施状況)	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				予算科目	会計	款	項	目			備考	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
まちづくりアクト (基本目標)	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	1	8		ア	採択地区数	地区		1	0	0	1	
(個別目標)	2	1	1	次産業が発展し続けるまち	主な費目	委託費、工事請負費				イ	委託・工事発注	件	3	1	2	2	1	
(施策)	3	1	1	生産基盤の整備	対象	対象地区の農業用施設				成果指標 (成果・効果)								
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする	事業期間	平成30年度～年度 (年間)				ア	農地中間管理機構への参加率 (対象地区毎)	%	60	10	20	30	70		
(施策)	1	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト															
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価									
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価									
年間トータルコスト	事業費	国県支出金	千円	23,853	7,000	13,084	24,150	14,000	有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 土地利用集積、担い手農家の育成による生産性の高い農業を総合的に推進するためには、農業用施設整備によるコスト削減が必要であり、今後の地区の課題を具体的な数字で目標づけられる本事業は最適なものである。								
		その他特定財源	千円	18,600	2,700	5,300	9,800	5,400										
		一般財源	千円	978	300	306	550	600										
		事業費計 (A)	千円	43,431	10,000	18,690	34,500	20,000										
		所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000										
		人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600										
		(A) + (B)	千円	49,031	15,600	24,290	40,100	25,600										
(2) 事業概要																		
事業目的	農業用施設 (農道や用排水路) の整備により維持管理を含めた労力・経費の削減や大型機械の導入促進による省力化を図り、生産コストの低減に取組むことで、事業実施区域において農地中間管理機構による担い手への農地集積を向上させる。 補助率: 55.0% (令和3年度以降の採択地区は、70.0%)																	
事業内容	農地中間管理機構による担い手への農地集積を向上させるために、農業用施設 (道路、用排水路など) の改修を図る。																	
開始経緯	少子・高齢化に伴い、農地や農業用施設の担い手不足は深刻な状況にある。次世代の担い手として、農地中間管理機構を活用したいが、農業用施設や農地の基盤が整っていない環境にある。 そこで、当事業を活用し、担い手が参加しやすい環境をつくる。																	
実施状況	平成30年度より、下段地区 (有明町野井倉) を実施し、令和2年度で完了。 (L=1,500mの道路整備) 令和3年度より、中村地区 (松山町尾野見) が新規採択され、用水改修の基本計画が策定できた。																	
成果	令和2年度完了地区 (下段地区) については、以下の成果があった。 ・農地中間管理機構参加面積及び参加率 (H30) 28.5ha、55% → (R2) 32.0ha、70% 中村地区 (松山町尾野見) は、測量設計を実施し、次年度以降の工事の準備ができた。																	
課題	基盤整備と今後の営農は、他課 (農政畜産課や農業委員会) との連携が必須である。計画時から完成後まで、地元協議を含め、互いに協力する必要がある。																	
				○ 拡充		現状維持		改善		効率化		廃止終了						
		改革改善案 基盤整備と今後の営農は、一体的でなければならない。今後、地元から、農業用施設の改修・改良要望があれば、本事業を勧めなければならない。																

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		地方改善施設整備事業				担当課	耕地林務水産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
						担当係	耕地係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
						予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち				1	6	1	8		ア	採択地区数	地区				1		
(個別目標)	1	憩いにあふれ住みたくなるまち				主な費目	委託費、工事請負費				イ	委託・工事発注	件				1			
(施策)	3	生活道路の整備・保全				対象	対象地区の排水路及び道路				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる									ア	苦情および要望件数	件		0	0	0			
(施策)	1	快適な生活支援プロジェクト				事業期間	令和5年度～ 年度 (年間)				イ									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価									
年間 トータル コスト	財源内訳	千円	(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	市民からは、このような道路について整備要望があるが、耕地サイドが考える農道(受益者管理が原則)では整備ができない状況にある。(本道路を利用しての農地耕作がない)そこで、福祉関係である本事業を活用したい。									
	国県支出金	千円					2,500													
	その他特定財源	千円					2,200													
	一般財源	千円					300													
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	5,000	0												
	所要人員 (年間)	人					1,000													
	人件費概算 (B)	千円	0	0	0	0	5,600	0												
(A) + (B)	千円	0	0	0	0	10,600	0													
(2) 事業概要										効率性 評価	現在は、単独事業での実施しかできないが、本事業を活用することで、県補助金を見込めることから、財政負担は軽減すると思われる。									
事業目的	集落道路の排水に生活雑排水が混入し、不衛生な状態にある地区の生活改善を目的とする。 補助率：50.0%																			
事業内容	集落道路の排水改修を図る。																			
開始経緯	以前は農地に隣接する道路であったが、住宅化が進み、集落道路へと変貌している地区が多数ある。この道路にある排水路は、農地用のものであるため、住宅化が進むと、断面不足のため、たびたび道路や宅地へ雨水や住宅排水が冠水する状態にあるため、なんらかの対策を講じる必要がある。																			
実施状況	本事業での実施可能について、県と協議。(R4) R5新規地区で要望中。									達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間									
成果	事業採択後に検証したい。																			
課題	事業採択後に検証したい。																			
										改革 改善案	○ 拡充	現状維持	改善	効率化	廃止終了					